



ネイチャーセンターだより

2016年10月号

いきもの図鑑



ウミウ (ウ科)

学名：*Phalacrocorax capillatus*
【髪の長いはげ頭のカラス】

英名：Japanese Cormorant

潜水が得意で、40m近くまで潜って魚を獲る。他の鳥より羽根に油分が少ないので、びしょぬれになってしまう。春国岱の岩場で数羽が翼を広げているのは、羽根を乾かすためである。「鶺鴒呑み」の語源は、ウの仲間は魚を丸ごと飲み込むことから、「物事をよく理解せず受け入れる」意味を持つことになったという説がある。

【上旬】

アッケシソウなどの紅葉や湿原の草が枯れ、春国岱全体が黄金色に染まり、色のコントラストがとても美しい季節です。

水辺では、オナガガモやヒドリガモなどが多い時には500羽以上で群れて、採餌しています。オオハクチョウは、例年この時期に第一陣が渡って来ます。



アッケシソウ



エゾリス

10月の見どころ



紅葉



オナガガモ

【下旬】

自然学習林では、ツタウルシやイタヤカエデなどが紅葉し晩秋の雰囲気が一層深まります。葉っぱが落ち視界が開けるので、シジュウカラやアカゲラなどの小鳥類の観察がしやすくなります。エゾリスが熟したクルミやマツボックリを探して、走り回る姿が時どき見られます。

見どころMAP

エゾシカの恋の季節が始まり、オスはメスを求めて“ヒーン”と少し不気味な声で鳴き叫びます。

晴れる日が多い季節です。湿原が黄色や茶色に染まり、1日として同じ景色がありません。



例年は10月上旬までアッケシソウの紅葉が見られますが、今年は…

子育てを終え、秋の渡り途中のカモやオオハクチョウが群れで浮いています。

カエデやハリギリなどが紅葉し、林内が秋色に染まります。小春日和のお散歩がおすすめです。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)

- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

⊗ 通行止め

トピックス

教えてください、あなたの風蓮湖・春国岱エピソード

風蓮湖・春国岱が、ラムサール条約に登録されるずっと前の昔の姿を知りたくて、思い出ポストを用意しました。皆さんそれぞれの思い出が、風蓮湖・春国岱の自然や根室の暮らしの記録になります。ぜひ思い出を聞かせてください♪

これまでに寄せられた思い出エピソードの一部

- ・小学5年生の頃、春国岱に先生の知り合いの番屋があり、船で渡してもらってキャンプをしました。砂浜でホッキを採り、ホッキごはんを食べた思い出があります。当時は車で西和田駅で降りて、長い道のりを歩いてゆきました。(70代)
- ・昭和40年代に根室に移り住み、子どもの遊び場としては、車石や春国岱へ出かけました。ハマボウフウをよく取ったり、花ではハマナスの実を摘みジャムにしたりしました。今より濃い森があったように思います。(70代)
- ・40年前の春国岱第一砂丘には、馬が放牧されていました。時どき砂丘を馬と一緒に歩きました。(40代)
- ・今から40年前は車で先端まで行く事ができました。先端には人が住んでいたと思われる茶わん等がありました。(70代)



どうする、みんなの春国岱 歩いて考えよう

9月25日に春国岱を歩いてその環境を知り、現在閉鎖しているコースの利用方法などについて、参加者から提案してもらう行事を主催しました。当日は心地よい秋風が吹く天気で、初対面の参加者たちの会話も弾んでいました。

見どころの一つであった塩湿地に咲くアッケシソウの紅葉の少なさには「んんん…」と残念な様子。ここ数年では2012年が赤く色づきとてもきれいな紅葉だったようです。今回のメインは、現在閉鎖中の第二砂丘のキタキツネコースを歩くことでした。こちらは倒木や立ち枯れが増え森自体が減り、地盤沈下により水辺環境は広がっていることなどを実感していました。

アンケートでは、「森林コースを復旧してほしいが、自然災害で壊れることを前提にお金をかけ



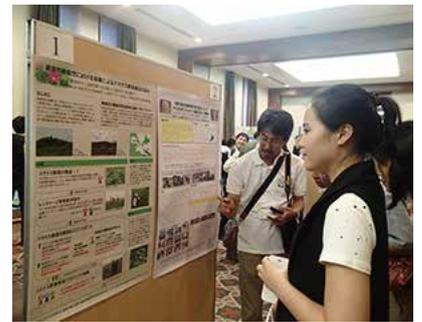
ず、すぐ直せる簡易的なものでよい」との意見が多数ありました。

ラムサールシンポジウム in 米子

8月に鳥取県米子市で、ラムサール条約湿地がある自治体や団体、専門家など約300名が集まったシンポジウムに参加してきました。

春国岱からは、市民団体「根室市ワイズユースの会」と「根室市歴史と自然の資料館」の外山学芸員とネイチャーセンターら主に3者が協働して活動している「ハマナス群落保全プロジェクト」について、ポスター発表をしてきました。

現在国内には、ラムサール条約に登録されている湿地が50か所あります。各地で環境保全のための草原の野焼き作業や、地域の子どもから大人が自然について学ぶ取組みなどが紹介されました。風蓮湖・春国岱の関心が地域の皆さんにもっと広まるように、これからも保全活動に力を入れていきます。



春国岱クイズ

カモがシベリア^{ほうめん}方面^{わた}から渡^きって来て
500羽も700羽も水辺^{みずべ}にいるよ！
でもみんな地味^{じみ}な顔立^{かおだ}ちをしている。
どうしてだろう。



A 最初^{さいしょ}にメスグループ^{わた}だけが渡^くって来る。きれいな羽根^{はね}のオスは、
12月に渡^くって来る。

B 繁殖羽^{はんしょくばね}に生え換^{はね}わっていないので、オスも地味^{じみ}な羽根色^{はねいろ}をしている。

イベント情報！

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは春国岱ネイチャーセンターへ
電話（0153-25-3047）もしくは直接のご連絡をお願いいたします。



開催日時	行事名・内容	参加費	お申し込み方法など
10月2日（日） 10：00 ～15：00	ネイチャーセンターまつり ボランティアサークル「スंक」メンバー 主催する年に一度のイベントです。 みんなが大好きな、本物さがしゲームを 森でやったり、パステルアートなど、た くさんの遊びを用意してますよ～ ※パステルアートのみ要申込	100円 （保険代）	こども～おとなどなたでも 参加できます。  おがくずアート
11月6日（日） 10：00 ～12：00	風蓮湖のオオハクチョウ、 カモ観察会 北海道よりもっと北の地で繁殖を終えた カモたちが風蓮湖に渡って来ました。 暖かい服装で、水鳥ウォッチング！	100円 （保険代）	・定員：20名先着（要申込） ・対象：小学生～大人 （保護者同伴） ・集合：春国岱ネイチャーセンター ・持ち物：野外で活動できる服装、 あればカメラ、双眼鏡など ※荒天中止

募集中！

ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを募集中です。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。主な活動は毎年行っている「ネイチャーセンターまつり」の運営や、自然情報の提供などです。ボランティアは、いつからでも経験がなくても始められます。お気軽にお問い合わせください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆年会費（保険料）：300円

ネイチャーセンターまつりの
ツリーイング風景（2014）



フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆10月休館日：5、11、12、19、26日

開館時間：9：00～16：30（冬期間中は閉館時間が変わります）

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。
（要 事前申込）



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月 登録